



※外観パース



緑化リビング
息抜きの場としてのリビング。天井一面に草を配置し、その上から照明を照らす事により木漏れ日の中のような雰囲気を出しました。

※リビングパース



地の書斎
アーティストとして作品の元となるアイデアを考える書斎。全ての起源となる根をイメージし空間に表現している。

※書斎パース



深海の寝室
深い睡眠を誘う効果のある青色がテーマカラー。連続的に使われている細い線の照明は、深海へ差し込む光を表現している。

※寝室パース



通路
美術館の様な先の見えない一本道の通路。見えない先の楽しみと空間が道に寄り添っている形を表現している。

※通路パース

Client: アーティスト夫婦

夫婦そろってアーティストとして活動している。

……が、あまり売れてはいないのが現状。

作品を披露して売ろうにも展覧会を開くにも費用が掛かる。

そこで、自分達の活動拠点としている場所を展覧会を開ける様にデザインしてほしいとの事。

もちろん制作活動も行うのでそのスペースも確保して欲しい。

クライアント要望

展覧会になる様なスペースと最低限の作業スペース。

寝室と息抜きになる様なスペース。

Concept: 光と影の美術館

クライアントの要望を聞き入れつつ、更にアート性を取り入れた Light Museum House。

一番の要望だった展覧会をにするスペースをこの住まいの動線に取り入れ、まるで美術館の様な一本道の動線になっています。

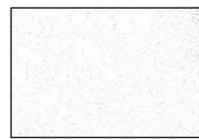
道の先に空間があるのではなく、道に空間が寄り添って形で成り立っています。

空間は三つ有り、寝室・書斎・リビングでそれぞれに光と影で生まれる新しいインテリアコーディネートを取り入れています。

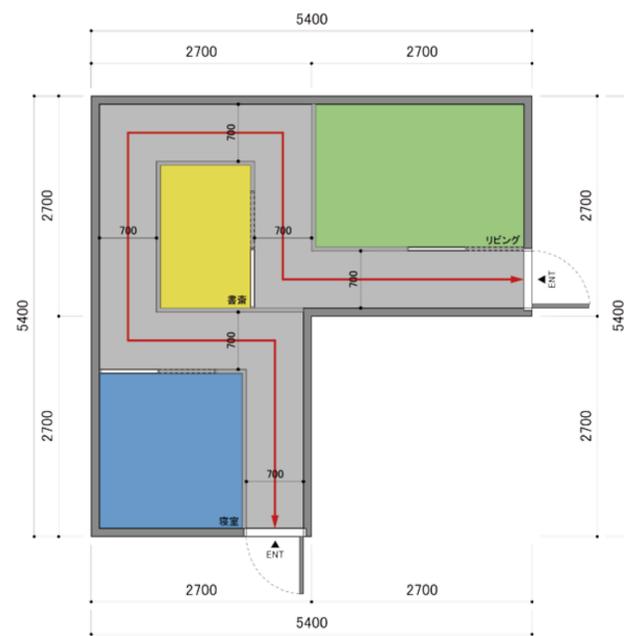
Color



Material



白コンクリート



S:1/50 Grand Plan

先の見えない動線

動線は一本道で成り立っていて、美術館の様な先の見えない道を表現しました。

これにより道を進んで行かないと作品を目視する事が出来ない様になっています。

先にある楽しみを演出しました。

光と影の演出

各部屋の空間コーディネートは照明アートによる光と影でコーディネートしました。

クライアントの作品と要望を元に生み出した各部屋のテーマは、

寝室＝深海 書斎＝地 リビング＝緑化となっています。

深海の寝室は、線上の柔らかい線で深海に差し込む光を再現しました。

又、テーマカラーの青色には睡眠をより快適にする効果があります。

地の書斎はクライアントが作品を考える空間なので、全ての元になっている根の様な

照明で空間をコーディネートしました。

緑化リビングは、考えが煮詰まった時の憩いの場として癒し効果のあるグリーンを選び、

空間は木漏れ日のイメージで癒しの演出をしました。